

授業科目名	外国語会話 I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Andrew Swift						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course is a student-centered English language course designed to prepare students for real-life situations they may encounter when overseas. Topics include buying train tickets, ordering food, and asking for directions.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Unit 1: At the airport			① 実用的な英語フレーズを学ぶ ② 海外経験を疑似体験する ③ 日常生活に必要な語彙を学ぶ ④ アメリカ英語とイギリス英語の違いを学ぶ		
	3~4	Unit 2: Shopping for gifts					
	5~6	Unit 3: At the train station					
	7~8	Unit 4: Food & Beverage					
	9~10	Unit 5: Hotel Stays					
	11~12	Unit 6: At the bank					
	13~14	Unit 7: Car Rental					
	15~16	Unit 8: At the pharmacy					
	17~18	Unit 9: Souvenirs					
	19~20	Unit 10: My hometown					
	21~22	Unit 11: Making Plans					
	23~24	Unit 12: Making Plans II					
	25~26	Unit 13: Asking for help					
27~28	Review Lesson 1						
29~30	Review Lesson 2						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Students will select content from a wide variety of graded readers.						
関連科目	外国語会話 II						
その他	This class is conducted in English.						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	TOEIC SW I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	The TOEIC® Speaking Test is a 20-minute, 11 question assessment of a person's spoken English proficiency. This course will guide students through the question types, test strategies, and test simulation.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Unit 1: Read a Text Aloud I			① テストの形式を理解する ② テスト内容を理解する ③ 試験時間を理解する ④ 採点基準を理解する ⑤ 発音の改善 ⑥ イントネーションの改善 ⑦ 流暢さの向上 ⑧ フォーマルなフレーズ		
	3～4	Unit 2: Read a Text Aloud II					
	5～6	Unit 3: Describe a Photograph I					
	7～8	Unit 4: Describe a Photograph II					
	9～10	Unit 5: Respond to Questions I					
	11～12	Unit 6: Respond to Questions II					
	13～14	Unit 7: Schedules & Advertisements I					
	15～16	Unit 8: Schedules & Advertisements II					
	17～18	Unit 9: Express an Opinion I					
	19～20	Unit 10: Express an Opinion II					
	21～22	Unit 11: Review Test 1					
	23～24	Unit 12: Review Test 2					
	25～26	Unit 13: Review Test 3					
	27～28	Unit 14: Review Test 4					
29～30	Unit 15: Review Test 5						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Class materials will be distributed at the start of each class.						
関連科目	TOEIC SW II						
その他	This class is conducted in English. You may require your PC sometimes. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	海外生活研修						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	山梨千恵子・関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	個人の方で海外文化に触れ、海外での語学学習、就業体験を体中で経験することにより、グローバル社会で活躍出来る学生を育成する事を目指す。週1の授業によって海外語学留学を安全に有意義に実行することを目標とし、毎回の授業はそれらを実現するための課題とその作成となります。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	ロールプレイ	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL		模擬授業	その他	
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外留学の目的・留学場所等について			① 留学の目的を知る ② 自己と日本の文化についてプレゼン発表が出来る ③ 希望留学先について、調査、プレゼン発表が出来る ④ 海外の治安などについて、自分を守る方法を知る ⑤ 留学先についての小冊子を作成する ⑥ 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を知る ⑦ 留学に必要な費用について知る ⑧ 留学中に毎日現地語でその日の出来事、日本語で気づき学びについて課題を出せる ⑨ 留学の成果について、留学後にプレゼンが出来る		
	3～10	自己紹介・日本について紹介プレゼン準備					
	11～18	留学先概要について調査					
	19～24	留学先文化について調査・プレゼン発表準備					
	25～28	留学先文化についてプレゼン発表					
	29～30	海外邦人安全協会講義					
	31～52	留学小冊子の作成①～⑥					
	53～56	留学出発前最終確認事項の確認					
	57～60	留学・留学後、課題提出・留学後発表会準備 留学後発表会					
成績評価方法	プレゼン発表（30％）・留学後の提出物（20％） 留学準備における提出物（40％）授業態度・出欠席（10％）						
使用テキスト／教材	講師作成プリント						
関連科目							
その他	各自毎時間PCを持参する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	海外文化研修							
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース							
担当教員	山梨千恵子・関根由美子							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実習	・講義	1	後期	必修	60	2		
授業目的 到達目標	現地での語学学校・就業体験・ホームステイを通して、海外留学中に生活文化を特に意識して学び、現地で快適に暮らせるように努力することを目標とする。留学前に、現地の生活習慣や文化、ものの考え方などを学習していくとともに、滞在中は、現地の人々の生活や就業への意識・姿勢を観察し、積極的に異文化を体感し学習していくことが重要になります。							
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>				
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	
	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～4	留学直前オリエンテーション			① 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を知る ② 現地の語学を学び、発話力を向上できる ③ 労働体験・ホームステイを通し、現地の生活習慣や文化、ものの考え方を学ぶ ④ 異文化の中でも自分の意思表示が出来る、相手も受け入れる姿勢を作る ⑤ 終業体験を通しビジネス英語・海外の労働文化を学ぶ ⑥ 留学中に現地語で毎日の出来事について、日本語で気づきや学びについて課題を出す ⑦ 留学の成果について、留学後にプレゼンが出来る			
	5～8	A科連携授業（空港でのチェックイン・機内での対応）						
	9～15	留学出発前最終確認事項、留学中の課題の確認						
	16～56	留学（ホームステイ）						
	57～60	留学中提出課題確認・留学後発表会について						
成績評価方法	留学（ホームステイの様子）（40%） プレゼン発表（20%） 留学中の提出物（30%） 授業態度・出欠席（10%）							
使用テキスト ／教材	講師作成プリント							
関連科目								
その他	各自毎時間PCを持参する。※実務経験のある教員が担当する科目である。							

授業科目名	Communicative English I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	1	通年	選択	30	1	
授業目的 到達目標	Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="radio"/>	ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Iceland & The Philippines			① 外国の歴史的事実を学ぶ ② 外国語で自己紹介ができる ③ 海外の観光スポットを知ることができる ④ 外国の食文化を学ぶ ⑤ 外国についての意見を書くことができる ⑥ 文化的認識を深める		
	3～4	Denmark & Jamaica					
	5～6	New Zealand & Peru					
	7～8	Canada & Italy					
	9～10	Poland & Thailand					
	11～12	Spain & Hawaii					
	13～14	Malaysia & Argentina					
	15～16	Sweden & South Korea					
	17～18	Malta & Hong Kong					
	19～20	France & Australia					
	21～22	Portugal & Germany					
	23～24	Brazil & UK					
	25～26	Holland & Mexico					
27～28	China & New Zealand						
29～30	Norway & India						
成績評価方法	Attendance (25%)、Effort & Participation (25%)、Written Reports (50%)						
使用テキスト ／教材	Materials related to each country will be distributed at the beginning of the lesson.						
関連科目	Communicative English II						
その他	Students are required to bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	ビジネス英語検定 I						
学科・コース	国際コミュニケーション科/ランゲージコース						
担当教員	杉山 和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	貿易に関する基礎知識を習得する。 英文Eメールやレターの読み方、海外取引の概要を理解する。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	英文レターのフォーマットとEメールの注意点			① 短めの英文レターが読める ② 短めの英文Eメールが読める ③ 基本的な貿易書類が読める ④ 信用状取引の概要がわかる ⑤ 輸出入における、ものと書類とお金の流れがわかる ⑥ 英語でレターとEメールの定型文が書ける		
	3~6	さまざまな場面のレターの内容理解					
	7~8	英文Eメールに使用する略語					
	9~12	さまざまな場面のEメールの内容理解					
	13~16	さまざまな貿易書類の基本的な理解					
	17~18	信用状取引の概要理解					
	19~20	輸出入における、ものと書類とお金の動きの理解					
	21~24	海外取引を行う2社のEメールのやりとりの内容理解					
	25~28	さまざまな場面の英会話の内容理解					
	29~30	レターとEメールにおける定型文の英作文					
成績評価方法	前期：出席率（10%） 期末試験（90%） 後期：出席率（10%） 期末試験（90%）						
使用テキスト ／教材	日商ビジネス英語検定3級のテキストを基に講師が作成したプリント						
関連科目	ビジネス英語検定 II						
その他							

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	比較文化研究 I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解力の習得を目標とし、世界の文化を歴史・宗教・政治経済などから広く学び、自国のものと比較しながら理解を深め、異文化間のコミュニケーションに役立つ知識や視点を身に付ける。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは					
	3～4	ハイコンテクスト文化・ローコンテクスト文化			① 異文化理解の知識		
	5～6	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義			② ローコンテクスト文化・ハイコンテクスト文化の知識		
	7～10	世界の宗教・多文化共生社会			③ 移民についてのトピックの理解		
	11～14	食文化・食習慣・風土・歴史			④ 世界三大宗教・世界の宗教についての基礎知識		
	15～16	プレゼンテーション①			⑤ 世界の食文化の基礎知識		
	17～18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション			⑥ 世界遺産・文化財についての基礎知識		
	19～20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財			⑦ 世界の美術・芸術についての基礎知識		
	21～22	美術と芸術・マスメディアとエンターテイメント			⑧ メディアとエンターテイメントのグローバル化についての理解		
	23～26	世界の経済と情報社会・デジタル化で変革する社会			⑨ 世界経済の基礎知識		
	27～30	プレゼンテーション②			⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションができる		
成績評価方法	出席率(50%)、授業レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)						
使用テキスト／教材	なるほど知図帳世界2024、授業内で配布する資料						
関連科目	比較文化研究 II						
その他							

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	Vocational English I						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="radio"/>	ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Working for Airlines			① キャリアの選択肢に対する意識の向上 ② 仕事の責任についての理解を深める ③ 英語で自己紹介ができる ④ 面接での質問を理解する能力 ⑤ 面接の質問に答える能力		
	3～4	Working at Airports					
	5～6	Working at Hotels					
	7～8	Working at Tourist Attractions					
	9～10	Working with Children					
	11～12	Working with foreign languages					
	13～14	Self-Introduction in English					
	15～16	Interview Questions about Self I					
	17～18	Interview Questions about Self II					
	19～20	Interview Questions about Work I					
	21～22	Interview Questions about Work II					
	23～24	Review Lesson 1					
	25～26	Review Lesson 2					
27～28	Review Lesson 3						
29～30	Review Lesson 4						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト／教材	Materials related to each career, will be distributed at the beginning of each class.						
関連科目	Vocational English II						
その他	This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	Mind Awareness						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	松永 祐子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	社会人として必要となる自己調整力をさまざまな角度から学んでいきます。心理学を理解するだけでなく、日常で実践することにより、自分らしい困難への対処法を見つけていくことを目指します。自己診断ツールを活用した授業も行っていきます。講義・演習形式						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明と自己紹介			①他者との関係づくりのコツが分かる ②自分の強みの理解と活用法が分かる ③自分の感情を自分で調整できる ④出来事への正しい認知と正しい行動が選べる ⑤ストレスの概念が理解できる ⑥ストレスからの回復力を養うことができる ⑦行動のメカニズムが理解できる ⑧自他への思いやりの効果について理解できる		
	3～6	ウェルビーイング					
	7～10	自分の強みを知り活かす方法を学ぶ（VIA-IS診断）					
	11～18	選択理論心理学					
	19～24	アンガーマネジメント（怒り感情の取り扱い）					
	25～26	ストレスマネジメント					
	27～28	レジリエンス					
	29～30	セルフ・コンパッション（思いやり・慈悲を学ぶ）					
成績評価方法	出席率（30%）授業態度（20%）提出課題（50%）						
使用テキスト／教材	幸せの達人（ユーキャン自由国民社）・講師オリジナルワークブック						
関連科目							
その他							

授業科目名	外国語会話Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Andrew Swift						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course is a student-centered English language course designed to prepare students for real-life situations they may encounter when dealing with clients or in the workplace. Topics include leaving telephone messages, arranging travel plans, and asking advice.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Unit 1: Talking about your job			① 実践的な英語フレーズを学ぶ ② 海外企業での疑似体験 ③ 職場で使えるフォーマルな英語を学ぶ ④ 職場に必要な語彙を学ぶ ⑤ アメリカ英語とイギリス英語の違いを学ぶ		
	3～4	Unit 2: Talking about your job responsibilities					
	5～6	Unit 3: Asking for directions					
	7～8	Unit 4: Giving instructions					
	9～10	Unit 5: Travel Schedules					
	11～12	Unit 6: Providing Assistance					
	13～14	Unit 7: Reviewing Data					
	15～16	Unit 8: Sharing Information					
	17～18	Unit 9: Sharing Plans					
	19～20	Unit 10: Asking about performance					
	21～22	Unit 11: Confirming Details					
	23～24	Unit 12: Explaining Costs					
	25～26	Unit 13: Checking an itinerary					
27～28	Review Lesson 1						
29～30	Review Lesson 2						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper test (75%)						
使用テキスト／教材	Students will select content from a wide variety of graded readers.						
関連科目	外国語会話Ⅱ						
その他	This class is conducted in English.						

授業科目名	TOEIC SW II						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	The TOEIC® Speaking Test is a 20-minute, 11 question assessment of a person's spoken English proficiency. This course will guide students through the question types, test strategies, and test simulation.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	Unit 1: Schedules & Advertisements I			① テストの形式を理解する。 ② テスト内容を理解する ③ 試験時間を理解する ④ 採点基準を理解する ⑤ 発音の改善 ⑥ イントネーションの改善 ⑦ 流暢さの向上 ⑧ フォーマルなフレーズ		
	5～8	Unit 2: Express an Opinion I					
	9～12	Unit 3: Schedules & Advertisements II					
	13～16	Unit 4: Express an Opinion II					
	17～20	Unit 5: Respond to Questions I					
	21～24	Unit 6: Respond to Questions II					
	25～28	Unit 7: Practice Test 1					
	29～32	Unit 8: Read a Text Aloud I					
	33～36	Unit 9: Describe a Photograph 1					
	37～40	Unit 10: Practice Test 2					
	41～44	Unit 11: Schedules & Advertisements III					
	45～48	Unit 12: Express an Opinion III					
	49～52	Unit 13: Practice Test 3					
	53～56	Unit 14: Practice Test 4					
57～60	Unit 15: Practice Test 5						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Class materials will be distributed at the start of each class.						
関連科目	TOEIC SW I						
その他	This class is conducted in English. You may require your PC sometimes. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	Communicative English II						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	選択	30	1	
授業目的 到達目標	Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="checkbox"/>	ペアワーク	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Iceland & The Philippines			① 外国の歴史的事実を学ぶ ② 外国語で自己紹介ができる ③ 海外の観光スポットを知ることができる ④ 外国の食文化を学ぶ ⑤ 外国についての意見を書くことができる ⑥ 文化的認識を深める		
	3～4	Denmark & Jamaica					
	5～6	New Zealand & Peru					
	7～8	Canada & Italy					
	9～10	Poland & Thailand					
	11～12	Spain & Hawaii					
	13～14	Malaysia & Argentina					
	15～16	Sweden & South Korea					
	17～18	Malta & Hong Kong					
	19～20	France & Australia					
	21～22	Portugal & Germany					
	23～24	Brazil & UK					
	25～26	Holland & Mexico					
27～28	China & New Zealand						
29～30	Norway & India						
成績評価方法	Attendance (25%)、Effort & Participation (25%)、Written Reports (50%)						
使用テキスト ／教材	Materials related to each country will be distributed at the beginning of the lesson.						
関連科目	Communicative English I						
その他	Students are required to bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	ビジネス英語検定Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	杉山和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	貿易、経済、金融に関する知識、及び貿易書類の読み方や英文契約書の内容読解の習得。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	以下の書類の内容理解			① 難易度の高い英文が読める ② 貿易書類が読める ③ 英文契約書が読める ④ 市場経済の知識を得る ⑤ 信用状取引について理解できる		
		・信用状					
		・為替手形					
		・船荷証券					
		・原産地証明書					
		・海上保険証券					
		・商業送り状					
	7～12	社内文書（英語）の内容理解					
	13～14	為替リスクの回避					
	15～16	さまざまな貿易取引					
	17～18	国際マーケティング					
	19～20	法制度や貿易の自由化の歴史と現在					
	21～22	国内総生産や価値について					
23～24	クレームと仲裁						
25～30	英文契約書の内容理解						
成績評価方法	授業内で行うミニテスト（20%）、期末試験（80%）						
使用テキスト ／教材	講師制作のプリント・その他						
関連科目	ビジネス英語検定Ⅰ						
その他							

授業科目名	Drama English						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・演習	2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	Drama English is designed to expose students to a variety of authentic media content. In doing so, students will learn useful phrases and vocabulary, as well as an understanding of foreign culture, current events, and global issues.						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="checkbox"/>	ペアワーク	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ <input type="checkbox"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Unit 1: American Situation Comedy I			① ネイティブの英語に触れる ② スラングの知識 ③ 語彙の増加 ④ 聴解力の向上 ⑤ 発音の改善 ⑥ コメディの理解 ⑦ 社会的トピックの理解 ⑧ メディアトレンドの理解		
	3～4	Unit 2: American Situation Comedy II					
	5～6	Unit 3: American Situation Comedy III					
	7～8	Unit 4: American Situation Comedy IV					
	9～10	Unit 5: Documentary I					
	11～12	Unit 6: Documentary II					
	13～14	Unit 7: Documentary III					
	15～16	Unit 8: Movie Scene I					
	17～18	Unit 9: Movie Scene II					
	19～20	Unit 10: Celebrity Interviews I					
	21～22	Unit 11: Celebrity Interviews II					
	23～24	Unit 12: TV Scene 1					
	25～26	Unit 13: Speeches I					
	27～28	Unit 14: Youtube Skits I					
	29～30	Unit 15: Music Videos I					
成績評価方法	Effort & Participation (75%)、Attendance (25%)						
使用テキスト ／教材	Class materials will be distributed at the start of each class.						
関連科目							
その他	This class is conducted in English. You may require your PC sometimes. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	比較文化研究Ⅱ						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解と異文化コミュニケーションの座学とグループワークや調査、プレゼン発表を通して、様々な人々と協調し、順応出来る力を身に付ける						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL		模擬授業	その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・異文化理解への態度（ケーススタディ）			① 日本の常識にとらわれない素地を作る ② 世界の文化・習慣・マナーなどを知る ③ 誤解されやすい文化をロールプレイングを通して体験し理解を深める ④ 国際交流科の学生から実体験を聞き、より海外との違いを知る ⑤ 世界の褒め方・叱り方・謝り方を知りプレゼン発表出来る ⑥ 外国籍の方から直接その国の文化・風習などを聴講し、理解を深める ⑦ コンテキスト・異文化コミュニケーション・パラ言語を理解する ⑧ 世界の非言語コミュニケーションを知る ⑨ 世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表が出来る		
	3～4	世界の文化・習慣・マナー・食文化のプレゼン					
	5～6	見える文化と見えない文化（見えない文化ロープレ&疑似体験）					
	7～8	コンテキスト・パラ言語					
	9～10	異文化コミュニケーション・自己開示					
	11～12	言語コミュニケーション（世界のほめ方・プレゼン作成）					
	13～14	言語コミュニケーション（世界の叱り方・プレゼン作成）					
	15～16	言語コミュニケーション（世界の謝り方・プレゼン作成）					
	17～18	出前教室①					
	19～20	非言語コミュニケーション（アイコンタクト・プレゼン作成）					
	21～22	出前教室②					
	23～24	非言語コミュニケーション（ジェスチャー・プレゼン作成）					
25～26	出前教室③						
27～28	非言語コミュニケーション（時間の感覚・プレゼン作成）						
29～30	世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表						
成績評価方法	プレゼン発表（40％）・ロールプレイング発表（30％） 小テスト・提出物（20％）授業態度・出欠席（10％）						
使用テキスト ／教材	異文化コミュニケーション（三修社）・講師作成プリント						
関連科目	比較文化研究Ⅰ						
その他	各自毎時間PCを持参する						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	English Reading						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Introduction to Graded Reading			① 読書スピードの向上 ② 英語のボキャブラリーを増やす ③ 有名人の伝記を学ぶ ④ 内容を文章にまとめる ⑤ 物語の重要な要素を再話する ⑥ 文化的認識を深める		
	3～4	Book Selection 1 / Written Appraisal					
	5～6	Book Selection 2 / Written Appraisal					
	7～8	Book Selection 1 & 2 Discussion					
	9～10	Audio Book Selection 1 / Written Appraisal					
	11～12	Audio Book Selection 2 / Written Appraisal					
	13～14	Audio Book Selection 1 & 2 Discussion					
	15～16	Book Selection 3 / Written Appraisal					
	17～18	Book Selection 4 / Written Appraisal					
	19～20	Book Selection 3 & 4 Discussion					
	21～22	Video Book Selection 1 / Written Appraisal					
	23～24	Video Book Selection 2 / Written Appraisal					
	25～26	Video Book Selection 1 & 2 Discussion					
27～28	Review Lesson 1						
29～30	Review Lesson 2						
成績評価方法	Attendance (25%)、Effort & Participation (55%)、Book Appraisals (50%)						
使用テキスト ／教材	Students will select content from a wide variety of graded readers.						
関連科目							
その他	Students are required to sometimes bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	Vocational English II						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	○	ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Self-Introduction in English I			① 英語で自己紹介ができる ② 面接での質問を理解する能力 ③ 面接の質問に答える能力 ④ 英文履歴書の作成能力 ⑤ 英文カバーレターを書く能力		
	3～4	Self-Introduction in English II					
	5～6	Interview Questions about Self					
	7～8	Interview Questions about locality					
	9～10	Interview Questions about Education I					
	11～12	Interview Questions about Education II					
	13～14	Interview Questions about Work I					
	15～16	Interview Questions about Work II					
	17～18	Interview Questions about Service					
	19～20	Interview Questions about Scenarios					
	21～22	Writing an English language resume I					
	23～24	Writing an English language cover letter					
	25～26	Review Lesson 1					
	27～28	Review Lesson 3 2					
29～30	Review Lesson 4 3						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Materials related to each unit, will be distributed at the beginning of each class.						
関連科目	Vocational English I						
その他	This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	ICTプレゼンテーション						
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース						
担当教員	杉山和代、山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	ICTツールを利用して、与えられたテーマに即した必要な情報収集・分析ができる力を身に付け、それらをもとにプレゼンテーションを構成し効果的に発表できる力を磨く。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク
	双方向アンケート		^ワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1-2	プレゼンテーションの基礎			① プレゼンテーションを作成できる ② トピックに対する情報収集・評価ができる ③ プレゼンテーションを行うことができる ④ 効果的なプレゼンテーションを作成できる ⑤ トピックに対する情報収集・評価・分析ができ、論じることができる ⑥ 効果的なプレゼンテーションを行うことができる		
	3-4	トピックへのイントロダクション					
	5-12	リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成					
	13-16	プレゼンテーション①					
	17-18	①のフィードバックとプレゼンテーション応用					
	19-26	リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成					
	27-30	プレゼンテーション②					
成績評価方法	プレゼンテーション（60％）、トピックに対する理解（20％）、出席率・授業態度（20％）						
使用テキスト ／教材	必要な資料は回ごとに講師が配布						
関連科目							
その他	毎回PCを持参してください。						